amanagroup

平成 23 年 11 月 7 日

各位

東京都品川区東品川二丁目 2 番 43 号
株式会社アマナホールディングス
代表取締役社長　　進藤 博信
（証券コード：2402　　東証マザーズ）
問合せ先　取締役管理部門担当　遠藤恵子
TEL：03-3740-3500
e-mail：ir@amana.jp

平成23年12月期の業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成23年2月15日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年12月期通期連結業績予想数値の修正（平成23年1月1日～平成23年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想（A）	13,100	800	700	250	50.27
今回修正予想（B）	13,600	400	300	△140	△28.15
増減額（B－A）	500	△400	△400	△390	
増減率（%）	3.8%	△50.0%	△57.1%	－	
（ご参考）前期実績（平成22年12月期）	11,931	784	702	537	108.14

修正の理由

当社グループの属する国内の広告市場は、東日本大震災の影響を受け厳しい環境にありましたが、徐々に復調しております。当社グループにおきましても、着実に推進している営業戦略も奏功し、第3四半期連結会計期間（平成23年6月1日～9月30日）において主力事業である広告ビジュアル制作事業がリーマンショック以降での最高額を受注するなど、足元の状況は堅調に推移しております。また、6月より新たなマーケット拡大の施策としてエンタテインメント映像制作事業を担う株式会社ポリゴン・ピクチュアズを連結子会社化したことにより、売上高につきましては前回公表の予想値を上回るものと予測しております。

しかしながら、震災の影響による売上高の減少を補う回復については、依然、不透明な要素が残っております。また、外注比率が低い広告ビジュアル制作事業の売上高が計画を下回り、外注比率が高い広告の企画制作事業の売上高が計画を上回ること、及び、エンタテインメント映像制作事業における外注費の増加などが見込まれるため、予想利益を下回るものと予測しております。

つきましては、平成23年2月15日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたします。

注）本資料に記載しております業績予想等につきましては現時点で得られました情報に基づき算定しております。実際の業績は今後さまざまな要因により本資料の見通しとは異なる結果となる可能性があります。

以上